
地球防衛軍

愚者

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

地球防衛軍

【Nコード】

N5315Q

【作者名】

愚者

【あらすじ】

2015年、人類は未知の宇宙人との戦争を開始した。彼らに對抗する組織、「地球防衛軍」の一員、藤原 寛の戦いを描く。「THE地球防衛軍」の二次創作ですm(____)m

序章・戦時下 1 (前書き)

不定期更新かと思いますが、よろしく願いしますm——(m
話の短さはご容赦下さい)。(;

序章・戦時下 1

序章・戦時下 1

俺、藤原 寛は、輸送車に揺られていた。

周囲にはαチームの仲間達が座り、硬い表情で落ち着きなく身体を動かしている。

俺はというと、割と気持ちは落ち着いている。

標準装備のライフル・A S - 18を確認し、欠伸をする。

途端に前方から怒鳴り声が飛んできた。

「おい藤原あ！！まさか寝てたんじゃないだろうな！？」

豪 剛隊長だ。

映画に出てくるような、まさしく「鬼」と形容すべき顔がこちらを向いていた。

「眠いんです」

「馬鹿野郎、これから戦場だぞ藤原あ！！」

豪隊長が再び怒鳴り、何やら熱く語り出した。

そう、戦場。

この平和なはずの、つい数年前は憲法で戦争を禁じていた日本は、今や戦場だった。

敵はアメリカでも北朝鮮でもない。

日本の内戦でもない。

-
-
-
-
宇宙人だ。

序章・戦時下 2

序章・戦時下 2

2015年、8月29日。

その日、人類は宇宙人との戦争を開始したのだ。

戦争の最前線で戦うのが、俺達EDF（Earth Defense Force）。

今現在も、任務に向かっていた。

「お前ら、作戦の最終確認だ！！」

目的地が近いのか、豪隊長は俺への説教を止めて言った。

「東京都心に敵生物が発生した。

一般市民の被害を食い止める為、我々は全ての敵生物を駆逐する。

何か質問は？」

余りにざっくりした言葉だが、特に疑問を持つ奴はいなかった。

いつもこんな調子なのだ、EDFは。

地球防衛軍と言うと立派だが、ぶっちゃけ急拵えの組織に大した力などあるわけがない。

そんな風に考えていると、どうやら目的地に到着したらしく、輸送車が急停止した。

「到着だ。行くぞ！！」

豪隊長の言葉に俺達は立ち上がり、戦場に飛び出した。

序章・戦時下 3

序章・戦時下 3

外に出た俺は、すぐにA S - 18の弾倉をセットし、赤いロケットランチャー・ゴリアス - 1を背負い直す。

今いるのは、東京都心のビル街だ。

随分と派手に暴れているようで、静かなこの場所とは違い、数キロ先からは爆音と銃声が響いている。

先行したるチームだろう。

『無線を確認しろ』

豪隊長の声が、無線を通して全員に伝わる。

一通り確認すると、豪隊長が言った。

「よし、第一分隊は俺と来い。

第二分隊は、樋野、お前が指揮しろ。

東側のルートから向かえ。

第三分隊は……」

豪隊長の指示を聞きながらGPSを見ると、市街地の北側が赤く染まっていた。

これが全て敵だと思つと気が滅入るが、やるしかない。

「作戦開始!!」

豪隊長の声とともに散っていく隊員達に混じり、俺は駆け出した。

序章・戦時下 4 (前書き)

更新遅れすみません m (m

序章・戦時下 4

序章・戦時下 4

かつては若者の町だった渋谷は、今やエイリアンと人類の戦場だった。

エイリアンとはいうが、どう見ても超巨大な蟻だ。

エイリアンがどんな目的を持っているにせよ、連中のセンスには正直負けたとは思えない。

幼い頃、蟻の巣に水を入れて遊んでいたのが懐かしい。

・・・いや、思い出に浸っている場合じゃないのだ。
ライフルを構えて指示を待つ。

『よし、全員δチームを援護しろ！』

了解、と応えたはいいが、キツイ状況だ。

蟻とδチームの隊員達がスクランブル交差点で入り交じり、何が何だか分からない。

とはいえ、やるしかないか。

俺は西側にいた蟻の一群に向かって突撃した。

序章・戦時下 4（後書き）

今更ですが、本作はどちらかと言えば軽いノリの物語ですf^_^
よろしく願いしますm——（m

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5315q/>

地球防衛軍

2011年2月18日12時48分発行